科目名	地域・公衆衛生看護学特論Ⅱ		分野・必選別・ 単位数	専門科目 (地域・公衆衛生看護学)	選択	2単位
担当教員	◎教授 山崎恭子 准教授 遠藤寛子					
課程	博士後期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法 講義
授業の概要	地域・公衆衛生看護学領域における自己の看護実践における問題について、国内・海外の文献を検討し探求すべき研究課題を明確化する。					
授業の到達目標	①看護実践に関連した課題を関心領域から国内・海外の文献を検索することができる。 ②課題に関連する国内・海外の文献をクリティークすることができる。 ③課題に関連する国内、海外のフィールドでフィールドワークを行い、その結果をプレゼンテーションできる。 ④自己の課題を明確化するとともに、研究方法を検討できる。					
授業計画	回数	担当者		行動目標		
	1	山崎 恭子 遠藤 寛子	教授 准教授	科目概説 科目の概要を概説できる。		
	2	山崎 恭子	教授	看護実践に関連した関心領域を設定できる。		
	3	山崎 恭子	教授	関心領域の課題を設定し、国内の文献を検索できる。		
	4	山崎 恭子	教授	関心領域の課題を設定し、国内の文献を検討できる。		
	5	山崎 恭子	教授	関心領域の課題を設定し、海外の文献を検索できる。		
	6	山崎 恭子	教授	関心領域の課題を設定し、海外の文献を検討できる。		
	7	山崎 恭子	教授	課題に関連する国内の文献をクリティークできる。		
	8	山崎 恭子	教授	課題に関連する国内の文献をクリティークできる。		
	9	山崎 恭子	教授	課題に関連する国内の文献をクリティークできる。		
	10	山崎 恭子	教授	課題に関連する海外の文献をクリティークできる。		
	11	山崎 恭子	教授	課題に関連する海外の文献をクリティークできる。		
	12	山崎 恭子	教授	課題に関連する海外の文献をクリティークできる。		
	13	山崎 恭子	教授	自己の課題を明確化できる。		
	14	山崎 恭子	教授	明確化した課題について研究方法を検討できる。		
15	山崎 恭子	教授	講義の振り返りと習熟度確認			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。				
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献や参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。				
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。				
教科書	課題に関連した文献・資料を収集する。					
参考書	課題に関連した文献・資料を収集する。					
成績評価の方法および基準	口頭発表50%、課題レポート50%で評価する。欠席1回ごとに5点減点する。					
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。					